

研修年月日	平成 25年 7月 31日～平成 25年 8月 2日
研修先	筑波大学附属桐が丘特別支援学校
用務	自立活動実践セミナー 参加
概要	<p>&lt; 研修内容 &gt;</p> <p>1日目</p> <p>10:20講演 1 「自立活動の指導の現状と課題」 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 分藤 賢之 氏</p> <p>○まず、自立活動の個別の指導計画を作成。時間を設けて指導するか各教科を合わせて指導するか、指導の効果から判断する。</p> <p>11:20講演 2 「教室で生きる自立活動」 筑波大学附属桐ヶ丘特別支援学校長 筑波大学人間系教授 川間 健之介 氏</p> <p>○知的障害者を教育する特別支援学校の場合、自立活動が時間割に上がっていないことが多い。 ○個別の指導計画を作り、課題を明確化し、指導方針を立て、どこでどのように指導するのかを明確にする。 ○指導目標が漠然としていたり、指導内容や方法が明確でなかったりすると評価できない。 ○発達の筋道や行動形成の筋道から導かれる目標にし、系統的・継続的に指導していく。</p> <p>13:30全体協議 ○グループ協議：5～6人のグループに分かれて、各所属校の自立活動の実態等を報告し合ったり、講演を受けての感じたことを話し合ったりした。 ○まとめ</p> <p>2日目・3日目 障害の重い子どもの自立活動「知覚-運動学習の理論と実際」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「知覚-運動学習理論 ～入門期の指導から障害の重い子の指導まで～」</li> <li>・講義「知覚-運動学習教材とふれあいたいそう」</li> <li>・実践報告「重度重複障害児に対するふれあいたいそうの活用」</li> <li>・実演授業〈施設併設学級小学部1組B 児童6名〉</li> <li>・実技体験「ふれあいたいそう」の実習 「にこちゃんたいそう」：触感覚や筋肉運動感覚を通して身体に対する意識性や認知能力を高める 「ふあふあ」：手足に対する意識性や認知能力を高める 「REMAC・REMACⅡ」：身体や動きのイメージの形成を図り、自発的・能動的な動きを引き出す 「ゆらゆら」：平衡反応や姿勢反応などを引き出すと共に、手足や身体の自発的な動きを引き出す</li> </ul>

